

北風と太陽

通りの角回ってくる北風
今度こそ自分の強さ見せる

「どうしてみんな言うことを
聞いてくれないんだろう」と呟く

ほっぺ ふくらませながら思い切り
舞い上がる落ち葉に泣く看板

通りすがりの人の心まで
縮めてしまうようになっていく

「人の心は力だけでは動かない」
と聞こえない声で
見下ろす屋根の上見かねた太陽
小さな光の粒そっと落とす

こわばりほどけて
やさしくゆるみだす

自分ほど強いものはないと北風
だけどそれは見せるものでなかった

自分の思い伝えるだけでは
誰も本気にはなれない

押し付けることに疲れた時
黙ったその瞬間に見たもの

そっと触れた暖かさの中
思いのままに動く人たち

「ほらごらんよ 力でなくて
自分たちで動くの 待つだけでいい」
ただ照らす太陽 変わることなく
力むこともなく見守りながら

ひとすじの光
そっと落とすだけ

こわばりほどけて
やさしくゆるみだす